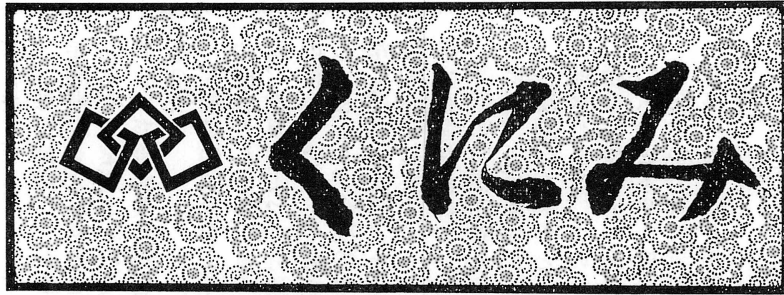


人口と世帯数
 男 5,857人
 女 6,153人
 計 12,010人
 世帯数 2,686世帯
 47.10.1 現在



No. 181

1972/10/15

編集発行 国見町公民館



楽しく盆おどり



みんなそろって歩け歩け

↓これはムスカシイ



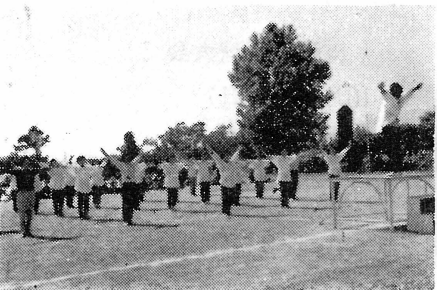
↑すごいケツ圧



↓お母さんの県民体操



↑熱戦終えてホット一息 ←アトラクション民謡をどうぞ



町ぐるみ 歩け歩け大会

—(十月八日)—

町内を五集団にわけ、それぞれ農協小坂支所、福祉センター、徳江隆寺跡、貝田番所跡、西大枝集会所に集合、各々の集団長のあいさつがあり、九時二十分の花火を合図に一齐に集合地である国見神社境内を目標として出発しました。途中はなるべく奥の細道自然歩道を利用するように計画し、三区、四区の道程を、老若男女が、さわやかな秋空の中を和気あいあいとして、歩行を楽しみました。幼児を連れた若いお母さんのほほえましい風景なども見受けられました。中にはポイイスカートの凜々しい姿が、人目をひいたようです。大会長、町長のあいさつがあり、議長の前秋空に県民の歌をこたませ、疲労回復体操を行い、参加者一同に記念品を頒ち午前十一時めでたく解散いたしました。

婦人高齢者スポーツレクリエーション大会

十月十日体育の日、福祉センター前の広場で、婦人高齢者二五〇名の集合のもとで開催されました。前日

の天気予報は、このましくないので心配しましたが、一夜あければ秋の陽が会場一ぱいにそそがれ、まるで初夏のような好日和でした。日頃スポーツに親しむ機会の少ない人達を対象とした大会なので、会の進行など多少気がかりでしたが、いざ開幕してみますと、まことに滑らかな進行ぶり、しかも拍手と爆笑の連続でとても楽しい一日でした。特に民謡、舞踊などを取り入れて、バラエティーに富んだプログラムの編成が成功したようです。ただ婦人の参加が昨年と比べて少なかったことが残念でした。参加された皆様に心から敬意を表しますと同時に、こうした会合には、いつも陰の人としてご苦労される役員の皆様に、心から感謝の意を表します。

文化祭のお知らせ

期日 十一月三日(予定)～五日
 会場 町民福祉センター
 内容 民謡・吟詠・舞踊
 コーラス・箏・バンド
 俳句等発表。
 絵画・写真・書道・盆栽・歴史民俗資料等の展示

よく見、よく聴き、よく考えて

国見町長選挙のお知らせ

私たち町民にとってもっとも身近な町長選挙は来る十一月十二日に投票が行なわれます。

この選挙は、これから四年間町政をまかせることになる町長を選ぶものであって極めて重要な意義をもつ選挙です。

候補者の政見をよく聞き主権者としての自覚のもとに、投票によって町政参加の権利を行使し、義務を果しましょう。今回の町長選挙に關して次のことがらをお知らせします。

◎立合演説会について

今回の町長選挙から条例に基づく任意制公営の立合演説会が次のとおり開催されます。この立合演説会は候補者の政見を聞くもっとも良い機会とされていますので有権者の皆さん多数の出席を希望します。

一、日時 十一月九日

午後二時 藤田小学校体育館

◎選挙権について

選挙人名簿に登録されていないと投票はできません。選挙人名簿には十一

月一日まで三ヶ月以上当町に住所を有する(住民基本台帳に記録されている)方で十一月十二日の選挙当日まで満二十才以上となった方が登録されています。ただし、選挙人名簿に登録されてあつても婚姻、就職等による町外転出者については選挙権はありません。

◎不在者投票について

投票当日、社用や公用等による出張、出稼ぎとか止むを得ない用務、または病氣、妊娠等のため投票所に行くことのできない人は、告示日(十一月五日)から投票の前日(十一月十一日)まで不在者投票ができます。この場合、その理由を証する宣誓書が必要なので該当する方は申し出て下さい。

特に出稼ぎなどのためすでに不在となっている有権者は、出稼ぎ先の選挙管理委員会で不在者投票ができますがこれは手続に日数がかかりますので留守をあずかる家族の方はお父さんやお兄さんの大切な一票をむだにしない

体育行事のお知らせ

体力の推持、増進にふるって参加しましょう

▷昭和47年度秋季ソフトボール大会◁

- 1、主催国見町教育委員会、国見町体育協会
2、期日 10月22日(日)
3、会場 県北中、藤田小、小坂小、大木戸小
4、大会要項 (一般の部、壮年の部)
町民ソフトボール大会(15才以上の町民)
壮年ソフトボール大会(35才以上の町民)
5、その他 くわしくは、かいらんを、又は公民館にお問い合わせください

▷昭和47年度秋季家庭バレーボール大会◁

- 1、主催国見町教育委員会、国見町体育協会
2、期日 10月22日(日)

3、会場 県北中屋体

- 4、大会要領 20才以上の町民で女子に限る
5、その他 くわしくは、かいらんを、又は公民館にお問い合わせください

▷町民卓球大会◁

- 1、期日 10月29日(日)
1、会場 藤田小屋体
3、大会要領
①団体戦一男子団体、女子団体(4単、1複)
②個人戦一A級、B級、壮年の部(35才以上)

▷壮年体力テスト◁

- 1、期日 10月29日(日)
2、会場 町民福祉センター
3、テスト要領
①40才以上の町民男女
②反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、踏台昇降運動、伏臥上体そらし、立位体前屈

▷スキー教室◁

- 第1回、1月7日(日) 吾妻高湯スキー場
第2回、1月28日(日) 安達太良スキー場
第3回、2月18日(日)
スキーレクリエーション大会小坂スキー場
第4回、3月4日(日) 天元台スキー場
第5回、3月18日(日) 山形蔵王スキー場
※くわしくは、かいらん、有線放送、体育指導委員を通じてお知らせいたします、ふるって参加してください。

おめでとうございませす

(九月中出生届をされた方 敬称略す)

Table with columns for birth date (出生日), name (氏名), and residence (住所). Rows list children born in September, such as 佐藤美紀, 佐藤美紀, 山崎信也, etc.

“あぶない” 自転車の二人乗り 無灯火

いよいよ町の選挙管理委員会に申し出て不在者投票の手続きをしてください。選挙に關してのお問い合わせは町選挙管理委員会

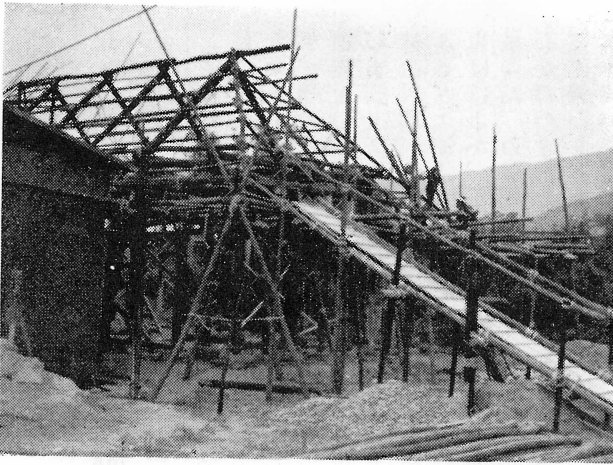
(町役場総務課内) 電話 二一一一番 有線 四一五四番 国見町選挙管理委員会

誕生当時の姿でおめみえ

重文古民家の復原進む

かねて移築工事中の県指定重要文化財旧佐藤家住宅がこのほど棟上げが終り、今、屋根ふきの最中で、この館報が町民各位の手にわたる頃には、すっかり屋刈りが終り、しようしやな姿を観月池畔に現わすことであろう。

屋根、壁、天井裏、床下からはじめて木材部、土台石、土間の盛土にいたるまで丹念に調査しながらの解体作業、一本の竹やぐき、一枚の板ぎれ、一個の土台石や軒場石も見落すことなく運ぶ。更にぼう大な山と



町建設課長はじめ課員達の監理を受けながら、大工さんたちが毎日採算を度外視しての作業、こうして準備ができたので、九月三十日からたてまえにかかり、十月三日午後四時、関口町長岩谷教育長、林建設課長その他関係者で棟上式を行なった。

次は屋根工事で、本田末治さんが中心になり町内はもちろん桑折、梁川までかけめぐり応援を求めたところ、そういう意義ある事業では、一生の思い出に最後のご奉公をしよう、と、とうの昔隠退し今は静かに余生を楽しんでいるといっただベテランまで応援にかけつけ

昔とったきねづかのうでを發揮している。

この間における郷土史研究会の協力ぶりについては先月号くにみで報道されたとおりであるが、今回も、猫の手も借りたい農繁期にもかかわらず、毎日六人か

古書どっさり寄託 一、八〇〇冊

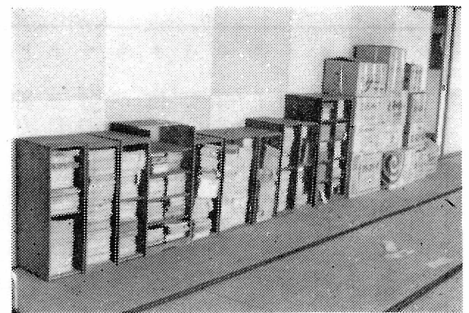
このほど大字大木戸字宮原の旧家半沢重夫さんから珍しい昔の本たくさん寄託され関係者を喜ばせている。

町史編纂室ではかねてから町史の資料をつくるために区長さん宅やお寺神様をはじめ村の旧家を訪問して古文書を調査し、その数す

でに一万数千点に達している。半沢家は国見町初代町長の家で、江戸時代から明治、大正にかけては近郷きつての豪農で、何か参考になる古文書があると推定して調査にかかったところ、案にたがわず貴重な書付記録がぞくぞくとあらわれ、私文書(わたくし文書)としては最高の一千数百点に達した。その調査中のこと土蔵の奥深く山と積まれた古文書を指差した半沢さんから「世の中の役に立つなら寄託してもよい」といわれさっそくこれを福祉センターに運び虫干しをしたり

目録づくりをした。なにしろ一八〇〇冊を越すほう大な古書の山に囲まれて係員は目玉を白黒させている。

一応五十音順に並べて受けカードをつくって整理する予定であるが、中国から伝はってきた論語、孟子、中庸、大学、詩経、易経、史記、通鑑、三国志……などきいただけでも心のひきしまるようなものとその解説書、東鑑、甲陽軍鑑、日本一統志、柳営日記、本朝戦国策、難波冬の陣、赤城義臣録など何となく親しみを感ずるようなもの、貝原益軒の実語教や養生訓、林子平の海国兵談、華道の本、歌や俳句から剣道、建築、うらないの本とあらゆる分野にわたり、時代の先端をゆく勉強をしたらしい大部分は木版刷だが直筆の写本もかなりある。昔は良い本とかほしい本があればそれを借りて写したらしい



和紙に毛筆できれいに書き上手にとちてある。

町文化財調査委員早田盛さんは「新しい本は金さえ出せばいくらでも買えるが昔の本はなかなか手に入らない。まことに貴重なものだ。図書館が資料館を建てたら「半沢文庫」として大切に保管したい」といっている。

社センターで役員会を開き早田会長外十八名出席、次の事項について審議した。

記

- 一、古民家復原移築工事につき協力すること……屋根ふきの手伝い、縄供出
- 二、徳江廃寺跡発掘調査に協力すること……十月十五日から二十八日まで二週間にわたり毎日十人、十五人づつ
- 三、古文書や出土品等の保存と発見に協力すること
- 四、十一月の文化祭には歴史資料、民俗資料を展示すること
- 五、十月三十日梁川公民館で文化財研究会(伊達地公連主催)があるので希望者は出席すること。
- 六、優良図書購入希望者にはあっせんするので役員又は事務局(鈴木)あてに申し込むこと。

郷研だより

十月三日午前十時から福

- 図説福島県史 (一、九〇〇円)
- ふくしま散歩(六五〇円)

お悔み申し上げます

(九月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	年齢	住所
9、2	稲月 あき	86	藤田観月台1
2	菅野 亮夫	40	山崎南古館5
11	吉田 光夫	69	森山東新田36
12	野村キミ子	45	小坂板橋25
20	黒田 英治	77	山崎太子堂17の1
27	目黒角次郎	74	森山東国見19

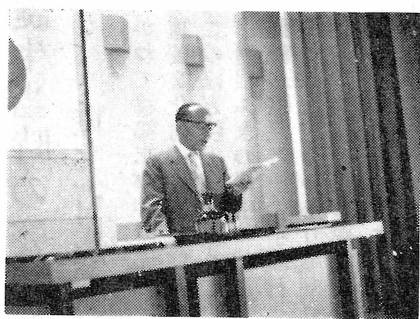
ふるさと物語と

あの歌この歌

明治学級

明治学級では九月二十六日(火)午後一時から福祉センター講堂で学習会を開き、郷土を理解するための勉強をした。講師は「ふくしま郷土文化研究会」の小林金次郎先生、テーマは「ふるさと物語」安達が原の鬼はばとか、王老杉と大仏城の話、万蔵稲荷の由来、石が森のきつねの助産をして大繁昌をした医者の話、あめ買い幽霊の話など信達地方に語りつがれている伝説、民話などからその社会的、教育的な意義づけをおもしろく話され、更に昔からうたわれてきたわらべうたや作業うたなどレコードを使いながら紹介された。

【講義中の小林先生】



わが国見町にも昔から語りつがれ、うたいつづけられてきたいろいろの民話、民謡わらべうたがたくさんあはずで、これらができるだけ正確に整理して次の世代に引継ぐことが大切で、これはわれわれ老人に課せられた重大な役割であると思われる。

小林先生は、かつて藤田小坂、森江野各小学校の歌を作詩し、国見町には特に縁が深いといふので、われわれ明治学級のために、別掲のような「明治学級の歌」を作ってください。われわれが若い頃よく歌ったものと一校寮歌「ああ玉杯に花うけて」のふしにあわせてうたうのでみんなすぐおぼえ、大きな声をはり上げ元気よくうたった。尚先生がしたしくしていただける日本民謡桃水会師範吉田桃媛さんが応援にこられ、吾妻おどり、頼トぶし伊達甚句など県北地方の民謡数曲を披露され、最後には先生の三味線に合わせてみんなで大漁唄込みを合唱し、諸打合せをして午後四時解散した。

国見町明治学級の歌

作詩 小林金次郎先生
曲 旧一高寮歌「ああ玉杯に花うけて」の曲
一 ああ厚樫の 森青く
歴史の跡に 咲く桃の
香もうるわしき 国見台
輝く雲の 湧くごとく
学べよ 明治学級の
わが青春は よみがえる
二 ああ霊山は いや高く
阿武隈の水 いや光る
国見の里の この実り
学びの窓に 手を取りて
学べよ 明治学級の
わが人生は 老ゆるなし
(昭和47年9月15日作)

さてあなたの型は?

血液型にいろいろあるように老人にもいろいろの型があるといわれる。どの型がどうのといっているのではない人は生れると、そだと努力でどのような型にでもなるものだという。どうせ一度しかない老後なら、丈夫で、みんなから尊敬され、おもしろおかしく、そして社会にご恩返しをしながら人生に生き甲斐を感じるような「型」になりたいものである。

- ① 丈夫で好かれて しまらぬ 顔 せめないやか 気がくどかない 気軽
- ② むかしならしたうでつぶし まあだまだ 大じょうぶ 若い連中やまけないぞ ちさきだけは一入前 (何くそ型)
- ③ 雨が降ろうが風が吹こうが物も言わなきや 尻もひらぬ 食べて生きていけなななたぼっこで (ひなたぼっこ型)
- ④ 人のいなしを よくきいて いつもところは日本晴れ 世間のごたごたうわの空 一杯はいると唄い出す (楽天型)
- ⑤ 好きなたばこも 酒もやめ 金がたまれば しゃわせよ 義理も人情もそっちのけ 三度の食事も二度にする (こう欲型)
- ⑥ びくびくしよぼしよぼ 気がめいり ひっこみ思案で 思いすぎ 人にあ

あつかし俳句会(九月十六日)
兼題「野菊」「三日月」 席題「子規忌」
高台や無言の世界三日の月 早田 灰鳥
三日月や神々います槍穂高 奥山 甲二
三日月のかけにゐるそなたの顔 斎藤黄鶴楼
三日月や吾が青春の日のままだに 一陽
三日月の庭にて女の髪梳す 勝エ
身にしみる亡き娘のノート三日月 正一
独り居の窓に肘つき三日の月 痴仏
三日月や川をはさんで城下町 雨田
野の菊や舌のまわらぬ子を抱く 山月
バス通る宇治の茶畑に野菊あり 泰山
雑草にあれば野菊の野菊かな 吐絹
野菊咲き抗打って居る分譲地 亭司
野の菊のあるかなきかの香りかな 是る子
したためし文に野菊の句をそえて かね子
深夜業フト虫の音に救われる 祥子
出勤の道に野菊の咲きこぼる 昭子
夕日落ち野菊一叢浮き淡し え子
寄り添うて咲き重なりし野菊かな 秋子
三日月や乳足らぬ児の寝そびれて 栄子

- にみんなの世話をする (田熟型)
- ⑦ テレビも見ます 本も読む はなしきいては 若返り まだまだ達者だ 今のうち 社会奉仕で 恩返し (まだやる型)
- ⑧ おれは部落の 長老だ ちからにのび 横ぐるま 東といはば 西といふ 人にそまらぬ へそまがり (神さま型)
- ⑨ 人のことでも 気になつて たのみせぬのに 世話をやき ありがためい わく かまわずに おせつかいして せいせい (おせつかい型)
- ⑩ うちはいっさい 嫁まかせ 子よりもかわいい孫 づれて お宮まえりや寺 まえり 歩く姿は 神さま (神さま型)